施主様用

安全にご使用いただくために、
この取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。

シマウマシューズボックス

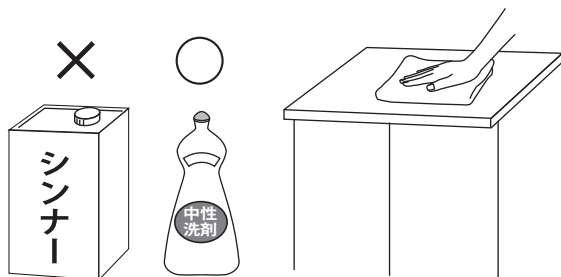
取扱説明書

このたびはご採用いただき、ありがとうございます。
安全に末永くご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

施工業者様へ　この取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

1. お手入れのしかた

本体部材のお手入れ

●本体の掃除は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞ったやわらかい布等で拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると表面の艶が変わったり変色する恐れがありますので必ず避けてください。

扉や天板表面・同素材部分のお手入れについて（メラミン化粧板のお手入れ）

●扉や天板の表面材はメラミン化粧板です。
（キャビネット内装に使用している素材よりはるかに硬く・耐汚染性に優れています。）

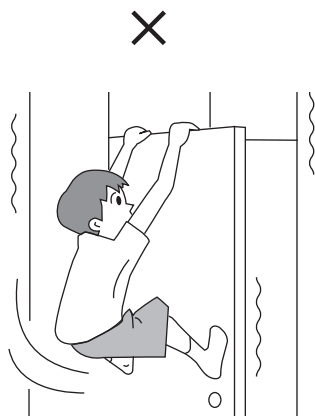
●頑固な油性の汚れはガラスクリーナーまたはエチルアルコール（薬用アルコール）で拭くか、市販のメラミンスポンジで水拭きしてください。
（特定の部位の擦り過ぎは艶の相違が生じるので擦り過ぎないようにしてください。）

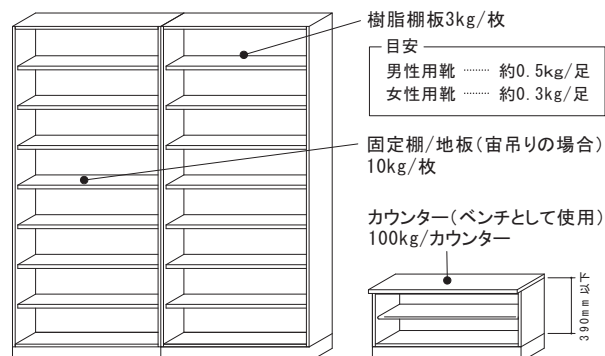
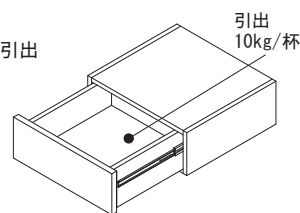
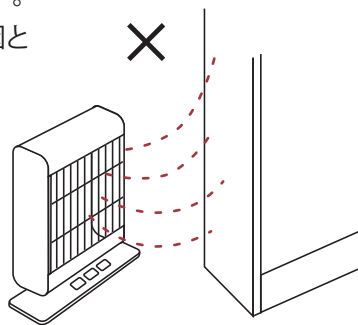
●メラミン化粧板は非常に硬いですが、ナイロンたわしやスチールウール、研磨剤入り洗剤などは使用しないでください。

2. 安全上のご注意

●分解や改造はしないでください。ただし、可動棚は変更することができます。

●耐荷重を超える重量物は収納しないでください。
・ユニットが破損したり、落下してケガをする恐れがあります。

●扉や棚板、カウンター、引出などに無理な力をかけたり、もたれたり、ぶら下がったりしないでください。
・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
・扉や棚板、カウンター、引出が落下したり、破損または変形してケガをする恐れがあります。

耐荷重について

■シューズキャビネット

■引出

●本製品の近くでストーブ等の熱源は使用しないでください。
・変形や破損の原因となります。

●硬いものでカウンター面を擦らないでください。
・表面に傷がつく恐れがあります。特に鏡面タイプは傷が目立ちやすいのでご注意ください。

●本製品に粘着力の強いテープなどを貼り付けないでください。
・表面が剥がれたり、破損の原因となります。

●濡れたものは収納しないでください。
・変形やサビ、腐食の原因になります。

●沸騰した鍋、ヤカンや熱油の入った鍋などは直接カウンターやテーブルの上に置かず、鍋敷き等を必ずご使用ください。

●カウンターの上で直接包丁やカッターなどを使用しないでください。

●皿や陶器など、裏面が粗いものをカウンターなどの上で滑らせないでください。キズの原因となります。

3. ご使用方法

●AV機器を設置する際は壁面・側板との間に必ず隙間を設けてください。
・隙間のサイズは家電メーカ―の指示に従ってください。十分な隙間がないとユニット内に熱がこもり、火災や変色、変形が起こる恐れがあります。

●スプレー缶・シンナー・ベンジンなど、揮発性のものは収納しないでください。
・爆発や火災の原因となります。

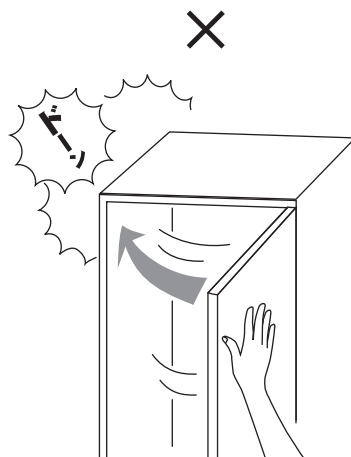
●濡れたものを収納しないでください。
・金具のサビや変形、腐食またはシミの原因となります。

●入浴剤や毛染液などの染料の強い薬剤は収納しないでください。
・収納に付着した場合、色うつりが発生します。

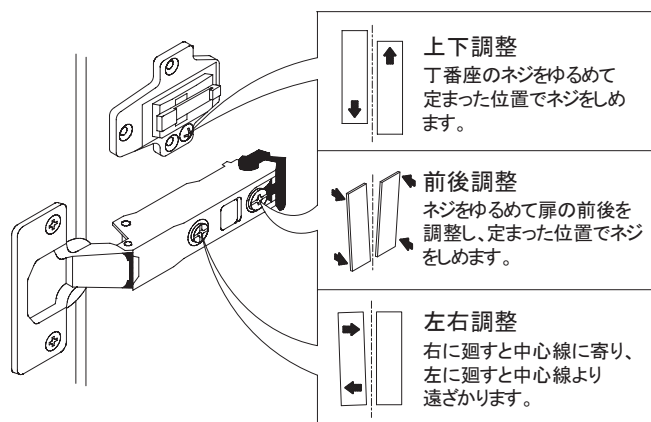
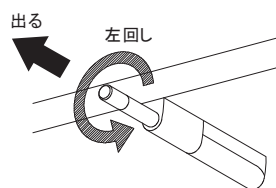
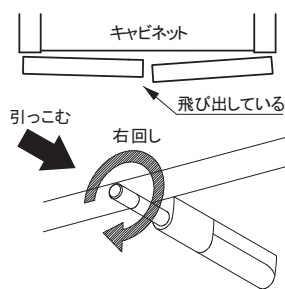
●不安定なものや割れ易いもの、鋭利なものを無造作に収納しないでください。
・扉を開ける時など収納物が落下してケガをする恐れがあります。
引出などにしっかりと収納してください。

●金具に錆が発生する恐れがあるので、強酸、強アルカリ、有機溶剤等は収納しないでください。又、上記洗剤で清掃しないでください。

●扉の開閉はゆっくりと行ってください。
・収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。
・扉／ユニットが破損し脱落・落下する恐れがあります。

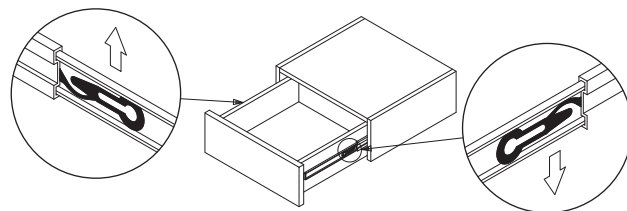
●無理な力をかけての開閉はやめてください。
・破損・脱落し、ケガをする恐れがあります。

4. 調整方法

扉の調整

扉の位置調整は、下記の方法で扉高さや、隙間を調整してください。

プッシュラッチの調整方法

■作動しにくい場合　　■戸先がとび出した場合

プッシュラッチが作動しにくい場合は、先端を左に回して、先端を出してください。
プッシュラッチが十分に作動し、かつ、扉の戸先が上記の様に飛び出した場合は、先端を右に回し、先端を引っ込ませてください。

引き出しの取り外し方法

■かまぼこ型扉：プッシュラッチ機能あり

引出をストップがかかるところまで引き出し、レールに付いている突起を上下方向に押しながら手前に引くと引出が外れます。

■手掛扉の場合

引出をストップがかかるところまで引き出し、レールに付いている突起を指で押しながら手前に引くと引出が外れます。
戻す時はレールとレール溝の位置を合わせ引出を押し込みます。